

弔詞

四月廿一日 幼稚園の始祖フレイベル先生の記念の日に 我が国のフレイベルと仰がれている倉橋惣三先生は 忽焉として逝されました 余りの急逝に 私共はただただ驚き 呆然為すところを知りません

先生は明治四十四年頃より本会の主幹となられ 全くの揺籃時代にあつた我が国の幼児教育界に深い教養と 博い識見とをもつて幼児教育啓蒙の熱意を満身にこめて立上られました

そして講義に講演に 又は研究に實際の指導に あらゆる機会に私共を導き鞭撻して下さいました 又本会の機関雑誌「幼児の教育」を我が子の如くにいつくしまれ 四十余年もの長きに亙つて親しく編集 執筆せられました 先生の御人格そのままの おだやかな 情趣あふれる文筆もて 一頁一頁に熱意をこめられて執筆せられ 戦後新しい教育の旋風がまきおこりました時 私共は少しもあわても驚きもいたしませんでした それは何十年もの前に 先生によつて新しい理論の上に 我が幼児教育の原理と方法とを基礎づけて置いて頂いたからでございます

先生の御導きをうけました後進は その後も先生の開かれた道を 先生の御教えをうけついで社会教育幼児教育と広い分野にわたつて 益々研鑽を積んでおります

先生どうぞ御安心遊ばして下さい 我が国の津々浦々の幼稚園にいたるまで 先生の御指導のいた

らないところはありません

私共 御直々に御導きを頂きましたものは言うに及ばず 若い世代の人々も 幼児教育に関心を持つほどの人は 偉大なる幼児教育者として先生をおしたい申し上げております

先生は又実に御幸福な方でした 外 先生に接した人は皆円満な人格者として先生を御慕い申し上げておりますし 内は又御家族の方々の至れり尽せりの御心づかいの中に いとも御安泰な毎日をお過していらつしやいました

御臨終も亦格別の苦悩もなく 誠に御幸福に満ち満ちた御生涯であられました

さわあれ 今ここに先生の訃音に接し 涙流れてせき止めあえず 先生逝かれた後の私共の淋しさ 頼りなさとえようもございません 先生との永遠のお別れに際し 思い胸に溢れて言葉に尽し得ません

一同に代りここに御高恩を謝し 御冥福をお祈りするのみでございませす

昭和三十年四月二十四日

日本幼稚園協会

及 川 ふ み

弔詞

日本保育学会

ここに倉橋惣三先生の告別式にあたり 先生の残された足跡をしのんで 謹んで弔辞を申しあげます 先生は昭和二十三年日本保育学会を創設せられ その発足以来会長として慈父の愛情を以て学会の発展に尽力されました 先生は広汎な活動分野をもつておられましたけれども それぞれの分野においてすぐれた見解とそれを実践する力を示されました なかんづく幼児保育界における御業績には著しいものがありました 戦時中 学校教育全般にわたり統制教育が実施されたなかでひとり幼児教育界だけににおいては自由保育の線がくずされなかつたのはひとえに先生の御卓見とその実践力におうものであります このことは幼児保育にたずさわるもののがく誇るにたることであり 倉橋先生は私たちの誇りとする先生でありました

先生にふれるものは誰でもその人情味に強くうたれた

ことでありました 人情を流露することによつてひともしき自分も生きる道を先生は実践しておられました 教育が人情の土台の上に築かれるものであることを先生は確信しておられたのであります

心理学によつて子供を知り 教育学によつて子供の教育法を学ぶ他に 絶えず人間の偉大さを知らなければならぬ 絶えず心にその感激を湛えていなければならぬ そうでない時私の目は子供において凡庸だけを見るものとなるであろうと先生は自ら問われました そして先生は人間の偉大さを知るもののみが人間を教育することの偉大さを知り得ると語られました そして更に人間の偉大さを自分において信じ得るものは最も幸福であると語られ この幸福を先生御自身はつきりとつかんでおられました そうしてそれ故に先生は偉大な教育者であつたのであります

この偉大さに私たち一人一人が近づく道はけわしくまた遠いことでありますようにけれども私たちは先生におい

て また先生にふれることによつて人間の偉大さを見いだすことができました 私たちは先生により人間がどこまで偉大であり得るかを事実によつて証明され これによつて絶えず感激を与えられ 人間に対する信念をもつて教育の道を進むことが出来ます この道は先生の歩まれた道でありその道を進むものはこれから後も先生と共にあるのだと思います 先生は御生前において決して自分の如くあれとは語られませんでした そして理想を抱いて常に私たちと共に歩んでおられました

生きているものがわれあるによつて一層生きてくれるしかもわれは常に相手の生活の下に潜み内に隠れて この意図と努力とを表立てない 自らをあらわにしないで そつと他を生かす これが先生の生き方でありました われあるによつて一層生きる 今はなき倉橋先生ではあります が 私たちが先生の偉大さをおもい先生の精神を体してよりよく生きるとき 先生もまたよりよく生きて下さるでありましょう 私たち一人一人がそれぞれおもしろいと感じていた御生前のあの先生にもはやふれることが出来ないことはさびしい限りでありますけれども このさびしさにたえ 私たちがそれぞれの道によりよく進むこと以外には 先生の霊をおなぐさめする

道も この御精神を生かす道もありません 私たちはひたすらにこの道を進み 私はまた先生の御精神を体して日本保育学会会員ならびに関係者一同と共に 先生なきあとの学会の発展に微力ながら尽すことをちかつかつてここに弔辞といたします

昭和三十年四月二十四日

日本保育学会

山下俊郎

昭和三十年四月二十四日

心理学の友として

(原稿なし)

上野陽一

みどり会

幼児教育をみどりの森にたとえると 其中にひとときわ高く枝をひろげて こんもりと茂つた大きな菩提樹が わたくし達の倉橋先生でございました 樹かげにこんこんと湧きあふれる泉 それを先生の詩と云いましうか 思想と申しましようか 私達み教をうけた数多の姉妹は 明治の終りから大正昭和の今日迄 半世紀に近い明

昭和三十年四月二十三日

みどり会代表

草野京

け暮を此泉によつて育まれ 学生生活を終り社会人になつても困つた時 悲しい時 嬉しい時 私達はいつもこの泉をくみに菩提樹の下に集りました むかしの幼児教育をかたい型から出して「生活を、生活して生活え」と伸ばして下さつたのは先生です 太郎さん 花子さんという個人を尊重されたのも先生です デュウニー博士の思想を保育の實際に生かされたのも先生です 皇后陛下の御進講 皇太子様のお相手 どんなに細かく深いお心使があつたでしょう 大正十五年はじめて幼稚園令が出る迄 又大戦後新日本の学校教育法に幼稚園を系統づける為に 戦争直後の不自由多い朝夕 御自身の体力を越えた努力をして下さつたのも先生です 先生は十二月のお誕生と承ります 大正八年欧米留学の為御出発の時もちろちら雪の降る寒い日でした 此度御病勢の急転で大木の倒れるように御永眠になつたのは 若葉美しい四月二十一日 丁度幼稚園の始祖フレールの誕生日と同じなのもふしぎなことと思われます

今日本の幼児教育界はまことにかけがえのない偉大な先生を失いましたが 先生の思想 先生の詩はありし日さながらに永久に私達の幼い人達の 又その母達の中に泉となつていつまでもあふれ流れることを信じます

日本児童学会

本会は名誉会員倉橋惣三君の逝去を悼み、茲に謹みて弔意を表する。

昭和三十年四月二十四日

日本児童学会

竹内薫兵

株式会社 フレール館

このたび余りにも卒然たる先生の御逝去に遭い 呆然自失 全く為すところ言う言葉を知らざる有様であります

先生の御逝去は果たして事実であるのか 先生は今もこの瞬間も御元気で いつに渝らぬ温顔微笑を以て我々

を見ておいでになるのではないか 我々の心情はなお先生の御健在を信じ 之に反する一切のことはありうべからざることに思えるのであります

しかも私は今先生の御逝去という事実を心から信じ得ぬままに 納得し得ぬままに なお茲に先生の御霊前に立ち 無量曠劫を通じて唯一度だけの訣別の言葉を申し上げねばなりません 万感胸に迫るといふもおろかでありませす 悲しみは筆舌に絶し 先生の生を奪い去つたものに對する怒りは五臓を駆けめぐる思いがされるのであります

先生が本社フレイベル館に御関係になりました初めは、本社創業間もなくの頃と伺つて居ります フレイベル館創業以来五十年 キングープツクも亦創刊以来三十年に垂々としその年月の長さはそのままに本社が先生を慈父と仰ぎ導師と定めて 幾多世相の変転を超えて營々として歩み来たつた年月の歴史であります 今日幼児教育に對する一般の関心の深さは慶賀にたえないところでありますが その昔 世人の之に對する認識必ずしも全たしというを得なかつた時代に かの独乙国のフレイベル先生の御心を心とし 我々の先輩が時代の風雪の中にはぐくみ守り育て来たつた本社の事業に 光ともな

り 柱ともなり 杖ともなられて 或いは励まし 或いは導き今日の我社の姿にまでして下さいました先生の御真情は 今更ながら涙と共にしみじみ思わぬわけには参りません

殊に昭和二十六年 この事業に就て全くの門外漢であつた私が たまたま経営の責任者として就任して以来の 先生の熱誠溢るゝ御指導 御鞭撻 御愛顧は 言葉に言い現わし難い感激と感銘を私の心に刻みつけているのであります

私はその職に任じてより約四才 幸いに大過なくその職責を遂行し得られたのは 備えに先生の御指導によることは申すまでもないことながら 一昨年はキングープツクの二十五周年記念祭も盛大に開催し 社の内外も漸くに整備し更に一段の發展を先生にもお喜び頂けると念じておりました矢先に

誠に天は無情であります 一瞬にして我らの慈父 導師を奪い去つたのであります その悲しみは私にとつて殆んどたえがたいものの如くに思われます

しかしながら事茲に至り 徒らに逝きし先生を偲んで悼み悲しむことのみが先生の御遺志ではないことを思い ます

先生の御遺志はもとより一事業会社の消長にはなかつたのであります。遙かに高く先生は我国凡ての幼児の幸福を、然りまことにそれのみを念じておられたのであります。

我々に残された責務は今日の悲しみを超えて明日の日本の幼児の幸福を培い育てることにある筈であります。そののみが先生の御遺志を真に生かし切る唯一の路であることを確信して居ります。

先生は永遠に我々の視界から去られました。しかし先生の御遺志はフレール館全社員の中に生きて脈々と波

打つて居ります。

先生の御名の呼ばれる限り、先生の御遺志は不滅であります。不朽であります。世代を超え、時代を超え、永遠に生くべきは申すまでもありません。

私はそれを確信し、又その実現のために今後身命を擲つて悔いしない決意を誓わして頂きます。

倉橋先生、どうぞ静に平安に御眠りになつて下さい。
昭和三十年四月二十四日 株式会社 フレール館

代表取締役 小高龍治

故倉橋惣三先生略歴

(次男倉橋文雄氏の草稿による)

倉橋惣三は明治十五年十二月二十八日、故倉橋政直、同とくの長男として静岡県鷹匠町に生れ、東京府立第一中学校、第一高等学校文科、大学哲学科を卒業し、児童心理学、幼児教育学を研究、明治四十三年、東京女子高等師範学校講師を嘱託され、大正六年、同校教授となり、爾来前後約二十五年に亘つて附属幼稚園主事をつとめ、又その間三年間は附属高等女学校主事の職にあつた。その間大正八年から十一年まで文部省在外研究員として欧米各国に派遣された。又、明治四十四年頃より日本幼稚園協会の主幹として、機関誌「幼児の教育」の編集にあつた。他、昭和二十三年、日本保育学会の発足以来、会長をつとめ、恩賜財団母子愛育会、日本児童学会役員に地位にもあつた。又、大正七、八年頃から雑誌「コドモノクニ」、昭和二、三年以来雑誌「キンダーブック」の編集顧問となり、幼児雑誌のために微力をいたした。この間、昭和初年以來、前後十数回に亘り、時に兩陛下、時に皇后陛下に児童心理および、幼児教育につき御進講申し上げ、昭和十二、三年頃兩三年に亘り、ほぼ毎週皇太子殿下のお遊び相手を申上げた。又、昭和四年から同二十一年まで文部省社会教育官を兼任し、成人教育の指導にあづかり、中央社会事業協会その他の団体にも関係し、社会教育、社会事業の発展にもあづかつた。さらに、この間「幼稚園雑草」「幼稚園保育法真諦」「育ての心」「フレール」「子供讃歌」新庄氏との共著「日本幼稚園史」を著した。

家庭人としては、明治四十五年三月、内田トクと結婚し、長男正雄、次男文雄、長女直子の三児をもうけた。昭和二十八年秋以來、循環障害の気味あり、治療につとめた結果、経過頗る良好であつたが、昭和三十年四月二十一日、脳血栓となつて、にわかにな病状革り、同日午後三時五十分永眠した。行年満七十二。